

教科(科目)	商業(商品と流通)	実施学年 (履修規定)	2学年 必修
単位数	3単位	教科書	実教出版 商品と流通
		副教材	商品と流通(問題集)
科目の目標	商品と流通に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの創造の意義や役割について理解させるとともに、商品開発や流通の諸活動に主体的に対応する能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・生産・流通・消費という経済の仕組みの中で、流通が果たしている機能や役割、その対象であるその商品の種類や特性がどのように変化してきたかを理解させるとともに、新たなビジネスの創造の意義や役割について理解させる。 ・経済のソフト化・サービス化に対応して商品の開発や流通活動に主体的、創造的に対応する能力と態度を育てる。 ・科学技術等の発展による経済成長やそれに伴う消費の質の変化が、商品を高度化し複雑化していること、及び生産と消費の間の隔たりを大きくさせていることなどを扱い、これらの変化に柔軟に対応することの重要性について理解を深め、変化に対応するための創造的な能力を育てる。 		

進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	第1章 産業経済の発展と消費生活 1. わが国の産業の変化 2. 消費生活の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・工業化社会からソフト化社会へと変化し発展してきたことについて理解する。 ・産業構造、就業構造の変化を通して、第3次産業を中心とする構造に変化していることについて理解する。 ・科学技術等の発展に伴って、モノの価値から個々人の生活価値を重視する方向へ変容していることを理解する。 ・経済の発展が消費者の所得水準を向上させ、購入される商品の対象が必需的な商品から選択的な商品へと変化していることについて、消費構造の変化から捉えて理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・自己評価表 ・作文 ・問題集 ・行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の学習態度はどうだったか、理解度はどうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解) ・要点は整理できているか。 (思考・判断) ・提出物は提出期限までに提出できたか。 (関心・意欲・態度) (技能・表現)
5	第2章 商品 1. 商品の成り立ち 2. 商品の特性 3. 商品売上の成立要件	<ul style="list-style-type: none"> ・生産と消費の分離によって流通が発生する過程を通して、商品の成立について理解させる。 ・商品の意義や商品の基本的特性である消費者に対する有用性、生産者に対する収益性、自然や生活に対する環境性などを取り上げて商品の特性について理解させる。 商品のライフサイクルや商品の分類についても理解させる。 ・商品の品質と価格が市場において商品を購入するときの判断要素になっていることを理解させる。 ・商品の品質の意義や品質の要素及び価格の構成や価格の形成について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・レポート ・自己評価表 ・問題集 ・行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の学習態度や理解度はどうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解) ・要点は整理できているか。 (思考・判断) ・要領よく内容をまとめ、適切に表現できたか。 (関心・意欲・態度) (技能・表現)
中間考査				

6	第3章 商品の多様化 1. 商品のソフト化	<ul style="list-style-type: none"> 現代市場における商品が、多品種少量生産による多様な商品へ移行すると同時に、モノへのサービスや情報を複合化させ、付加価値を高める方向で商品のソフト化が進んでいることについて理解させる。 産業の融業化、業際化などから新しいタイプの商品が販売方法や消費生活に変化を与えていることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート 自己評価表 レポート 行動観察 問題集 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の学習態度，理解度はどうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解) 要領よく内容をまとめ、適切に表現できたか。 (関心・意欲・態度) (技能・表現)
7	2. 商品開発の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> 多くの商品が、消費者の満足を実現させるために開発されていることを理解させる。 市場の動向や消費者の多様な欲求，商品の物的有用性の評価と使用後の実際の評価との関連，商品の利便性など，多角的な点から商品開発が行われていることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート 行動観察 問題集 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の学習態度，理解度はどうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解) 要点は整理できているか。 (思考・判断)
期末考査				
8	夏期休暇			
9	第4章 流通の仕組みとその担い手 1. 流通の仕組みと市場 2. 小売商と卸売商	<ul style="list-style-type: none"> 流通の働きにふれるとともに，具体的な商品の流通経路を取り上げて商品流通の仕組みについて理解させる。 商品流通における市場の役割や市場における商品を流通させるうえでどのような問題点があるか考えさせ，商品流通について理解を深めさせる。 流通機構の中における小売業・卸売業の働きに触れるとともに，小売商・卸売商の種類を取り上げて，その主要な形態や特性について理解をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート 自己評価表 行動観察 問題集 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の学習態度，理解度はどうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解) 要領よく内容をまとめ，適切に表現できたか。 (関心・意欲・態度) (技能・表現)
10	3. 環境変化と流通 第5章 流通を支える諸活動 1. 物流	<ul style="list-style-type: none"> 流通をとりまく環境の変化にとともに，どのように流通が変化してきているか理解させる。 消費者の欲求の多様化，規制緩和，情報化などの環境の変化が流通に対してどのような影響をもたらしているか理解させる。 商品流通における物流の意義や活動の内容に触れるとともに，物流を担当する運送機関と保管期間の種類と機能について理解させる。 産地から店頭までの配送時間の短縮など物流活動についてどのように効率化されてきたか理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート 問題集 自己評価表 行動観察 レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度はどうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解) 要領よく内容をまとめ，適切に表現できたか。 (関心・意欲・態度) (技能・表現) 要点は整理できているか。 (思考・判断)
中間考査				
11	2. 金融 3. 保険	<ul style="list-style-type: none"> 流通を支える金融活動と保健活動の働きや仕組みについて理解させる。 銀行，証券，保険の種類，業務などについては，売買業者がこれらの機能や機関を利用する観点を踏まえて理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート 問題集 行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度はどうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解)
12	4. 情報通信システム	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信システムを流通活動の面からとらえ，その機能について理解させる。 コンピュータによる流通管理システムなどの新しい技術の内容を取り上げて，情報通信システムが緻密な物流活動を可能にしていることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート 問題集 自己評価表 行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度はどうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解)
期末考査				

1	第6章 ビジネスの創造 1. 新しいサービス産業	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいサービスを具体的に取り上げて、それら が対個人サービス業や対事業所サービス業において、 新しいサービス業として発展していることを理解さ せる。 ・新しいサービス業が個々人の生活満足を実現して いることや、サービスがモノとの代替や補完関係の 中で成立していることについても理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・自己評価表 ・問題集 ・行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む学習態度や 学習の内容に対する理解度は どうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解) ・要領よく内容をまとめ、適 切に表現できたか。 (関心・意欲・態度) (技能・表現)
2	2.ベンチャー ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチャービジネスの意義に触れるとともに、経 済の進展に伴うアウトソーシングの拡大や女性の社 会進出の高まり並びに情報技術等の急速な進展が、 ビジネスの創造につながっていることについて理解 させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・問題集 ・行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む学習態度や 学習の内容に対する理解度は どうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解)
3	第7章 商品研究	<ul style="list-style-type: none"> 地域や学校の実情に合わせて、身近な商品を取り上 げて調査、研究を行い、商品に対する興味・関心を 高めるとともに、新たな商品の提案など創造的な能 力と態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・レポート ・自己評価表 ・行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む学習態度や 学習の内容に対する理解度は どうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解)
学年末考査				

評価の観点及び趣旨

「商品と流通」の総合評価における各観点の割合

関心・意欲・態度	10 %程度	知識・理解	10 %程度
思考・判断	10 %程度	技能・表現	10 %程度
定期考査	60 %程度		